

ユネスコ無形文化遺産

人形浄瑠璃

# 文楽

昼の部

「妹背山婦女庭訓」

〜杉酒屋の段〜道行恋苧環〜姫戻りの段〜金殿の段

夜の部

「近頃河原の達引」

〜四条河原の段〜堀川猿廻しの段



写真 青木信一

## 紅×女

「色」に現る、女の生き様。

優艶で健気な恋物語。

ユネスコが認めた世界無形文化遺産。

《全席指定》 1階席 3,600円 昼夜通し券 6,480円 こども・学生 1,000円 2階席 1,000円

※2階席は舞台を上から見下ろすため、人形や舞台の一部が見えにくい場合がありますのでご了承下さい。

※未就学児入場不可、こども・学生は28才以下の学生

※静岡県内の中高生を各公演先着5名様までご招待します。お申込みは(公財)静岡県文化財団TEL.054-203-5714まで。

※公演日1週間前に残席がある場合、定価より2割引になります。(こども・学生券、通し券を除く)

※「静岡県高校生アートラリー」ポイント対象事業 ※グランシップ友の会会員特典対象事業

チケット販売 グランシップチケットセンター TEL 054-289-9000 (10:00~18:30/休館日を除く)

http://www.granship.or.jp

グランシップ

検索

お問い合わせ グランシップホームページからは空席状況に応じて好きな席を選んで購入できます。(昼夜通し券を除く)

2016年 10月10日 月祝

昼の部 13:30開演 (13:00開場)  
夜の部 18:00開演 (17:30開場)

グランシップ 中ホール・大地  
(JR東静岡駅南口隣接)

お着物で来場の方に  
先着でプレゼント進呈!

ユネスコ無形文化遺産に登録され、日本が世界に誇る「人形浄瑠璃 文楽」。太夫・三味線・人形遣いの三者が互いに息を合わせ、三位一体で創り上げられる舞台は、世界のほかの人形劇とは全く異なる文楽ならではの特徴です。今年の「グランシップ伝統芸能シリーズ」のテーマである『色』は、『妹背山婦女庭訓』に登場する豪華な御殿や人形の美しい着物、物語の重要なアイテムである苧環などに表現されています。日本版「ロミオとジュリエット」と言われる時代物と、京都の猿廻しの家を舞台とした家族の思いやりにあふれた世話物をお楽しみください。

星の部

「妹背山婦女庭訓」

古代、大和で起きた蘇我入鹿のクーデター。ひそかに討伐計画を進める藤原鎌足、淡海父子のちの天智天皇と藤原鎌足による蘇我入鹿暗殺（645年）を題材とし、大和の様々な伝承を織り込んだ、近松半三ほか合作の五段の時代物。明和八年（1771）、竹本座初演。入鹿討伐に巻き込まれた庶民の娘の悲恋を描く四段目をお見直しします。

【金殿の段】途中で糸が切れ、やごとのことで御殿にたどり着いたお三輪。その耳に、今宵、求馬と娘が祝言を挙げるとの話が。恋人を奪われ、官女たちからも散々に辱められ嫉妬と怒りに荒れ狂うお三輪を刺したのは、鎌足降参の使者漁師鱈七と偽って入鹿のもとに来ていた、鎌足の家来金輪五郎でした。鹿の生血を飲んだ母から生まれた入鹿の唯の弱点は、爪黒の鹿の血と嫉妬に狂う女の生血とを注ぎかけた笛の音を聞くこと、意識を失うというものの、既に鹿の血は鎌足の手に入り、あと必要だったのは女の血。それが得られた今こそ入鹿討伐のとき！求馬の正体を知らされ、自身の死が恋人の役に立つことを喜んだお三輪は、ひたすら求馬を恋慕い、息絶えます。

「道行恋苧環」

【道行恋苧環】追いついた求馬とお三輪。再び求馬を奪いあう二人。夜明けが迫り、先を急ぐ娘の袂に、求馬は手にしていた苧環の針をつけ、糸を頼りに追跡します。お三輪も同じく求馬の裾に針を刺したのですが……

美男美女三人による星空のもとの美しい道行、豪華な御殿、そこに迷いこんだ娘の恋ゆえの不安や悲しみ、激しい怒りと哀れな最期、官女の意地悪さも含めて見どころにあふれた人気演目です。

「近頃河原の達引」

【近頃河原の達引】「四条河原の段」堀川猿廻しの家、舞台とした、母、兄妹の思いやりに満ちた物語。

【四条河原の段】猿廻しの与次郎は、病で目の不自由な老母と二人暮らし。その妹で祇園の遊女おしゅんは井筒屋伝兵衛は深い仲。ところが、伝兵衛出入りの武家屋敷の侍がおしゅんに横恋慕。伝兵衛殺害を企んで四条河原で待ち伏せし、逆に伝兵衛に殺されてしまいました。人を殺して生きてはいられないと、伝兵衛が自害を覚悟したとき、恩を受けた知人が身代わりを申し出、伝兵衛を逃がします。

「堀川猿廻しの段」

【堀川猿廻しの段】しから、現場に落ちていた小刀から伝兵衛が犯人と知り、目下、詮議の真最中。おしゅんはひそかに店から実家に戻されました。老母と兄が恐れるのは、追い詰められた伝兵衛が心中を決意し、おしゅんを殺しに来ること。そこで妹に絶縁状を書かせ、安心した二人

が寝入ったその夜、おしゅんと一緒に死ぬため、伝兵衛が忍んで来ました。妹を守ろうと与次郎が手渡した絶縁状は、実は家族に宛てた書置き。あくまでも伝兵衛への愛を貫き、死をものとわなないおしゅんに心を打たれた老母は、できるだけ二人が生き延びることを願いながら、娘を伝兵衛に託し、与次郎も猿廻しで二人の門出を祝福、今生の別れを告げるのでした。

夜の部

「近頃河原の達引」

【近頃河原の達引】「四条河原の段」堀川猿廻しの家、舞台とした、母、兄妹の思いやりに満ちた物語。

【四条河原の段】猿廻しの与次郎は、病で目の不自由な老母と二人暮らし。その妹で祇園の遊女おしゅんは井筒屋伝兵衛は深い仲。ところが、伝兵衛出入りの武家屋敷の侍がおしゅんに横恋慕。伝兵衛殺害を企んで四条河原で待ち伏せし、逆に伝兵衛に殺されてしまいました。人を殺して生きてはいられないと、伝兵衛が自害を覚悟したとき、恩を受けた知人が身代わりを申し出、伝兵衛を逃がします。

「堀川猿廻しの段」

【堀川猿廻しの段】しから、現場に落ちていた小刀から伝兵衛が犯人と知り、目下、詮議の真最中。おしゅんはひそかに店から実家に戻されました。老母と兄が恐れるのは、追い詰められた伝兵衛が心中を決意し、おしゅんを殺しに来ること。そこで妹に絶縁状を書かせ、安心した二人

が寝入ったその夜、おしゅんと一緒に死ぬため、伝兵衛が忍んで来ました。妹を守ろうと与次郎が手渡した絶縁状は、実は家族に宛てた書置き。あくまでも伝兵衛への愛を貫き、死をものとわなないおしゅんに心を打たれた老母は、できるだけ二人が生き延びることを願いながら、娘を伝兵衛に託し、与次郎も猿廻しで二人の門出を祝福、今生の別れを告げるのでした。

「道行恋苧環」

【道行恋苧環】追いついた求馬とお三輪。再び求馬を奪いあう二人。夜明けが迫り、先を急ぐ娘の袂に、求馬は手にしていた苧環の針をつけ、糸を頼りに追跡します。お三輪も同じく求馬の裾に針を刺したのですが……

美男美女三人による星空のもとの美しい道行、豪華な御殿、そこに迷いこんだ娘の恋ゆえの不安や悲しみ、激しい怒りと哀れな最期、官女の意地悪さも含めて見どころにあふれた人気演目です。

配役表



星の部

「妹背山婦女庭訓」

お三輪 豊竹 呂勢太夫  
求馬 竹本 文字久太夫  
娘 豊竹 清介

丁稚子太郎 桐竹 秀  
娘 吉田 紋  
求馬 豊松 清十郎  
お三輪 吉田 勘十郎  
お三輪母 市郎

「道行恋苧環」

お三輪 豊竹 呂勢太夫  
求馬 竹本 文字久太夫  
娘 豊竹 芳徳太夫  
鶴 鶴澤 清治  
鶴 鶴澤 清志郎  
鶴 鶴澤 寛太郎  
鶴 鶴澤 公

橋 吉田 勘  
求馬 豊松 清十郎  
藤原淡海 豊松 清十郎  
お三輪 桐竹 勘十郎  
お三輪 桐竹 勘十郎

「近頃河原の達引」

竹本 文字久太夫  
鶴澤 清志郎  
竹本 津駒太夫  
鶴澤 藤蔵  
鶴澤 寛太郎

横瀬官左衛門 吉田 幸  
仲買勘蔵 吉田 文  
井筒屋伝兵衛 吉田 清  
廻しの久八 豊松 十郎  
箱古娘おちる 吉田 勘十郎  
与次郎の母 吉田 勘十郎  
猿廻しと次郎 桐竹 勘十郎  
娘とおしゅん 大田 勘十郎  
駕籠屋 大田 勘十郎

「堀川猿廻しの段」

竹本 文字久太夫  
鶴澤 清志郎  
竹本 津駒太夫  
鶴澤 藤蔵  
鶴澤 寛太郎

横瀬官左衛門 吉田 幸  
仲買勘蔵 吉田 文  
井筒屋伝兵衛 吉田 清  
廻しの久八 豊松 十郎  
箱古娘おちる 吉田 勘十郎  
与次郎の母 吉田 勘十郎  
猿廻しと次郎 桐竹 勘十郎  
娘とおしゅん 大田 勘十郎  
駕籠屋 大田 勘十郎

夜の部

「近頃河原の達引」

竹本 文字久太夫  
鶴澤 清志郎  
竹本 津駒太夫  
鶴澤 藤蔵  
鶴澤 寛太郎

横瀬官左衛門 吉田 幸  
仲買勘蔵 吉田 文  
井筒屋伝兵衛 吉田 清  
廻しの久八 豊松 十郎  
箱古娘おちる 吉田 勘十郎  
与次郎の母 吉田 勘十郎  
猿廻しと次郎 桐竹 勘十郎  
娘とおしゅん 大田 勘十郎  
駕籠屋 大田 勘十郎

「道行恋苧環」

お三輪 豊竹 呂勢太夫  
求馬 竹本 文字久太夫  
娘 豊竹 芳徳太夫  
鶴 鶴澤 清治  
鶴 鶴澤 清志郎  
鶴 鶴澤 寛太郎  
鶴 鶴澤 公

橋 吉田 勘  
求馬 豊松 清十郎  
藤原淡海 豊松 清十郎  
お三輪 桐竹 勘十郎  
お三輪 桐竹 勘十郎

「近頃河原の達引」

竹本 文字久太夫  
鶴澤 清志郎  
竹本 津駒太夫  
鶴澤 藤蔵  
鶴澤 寛太郎

横瀬官左衛門 吉田 幸  
仲買勘蔵 吉田 文  
井筒屋伝兵衛 吉田 清  
廻しの久八 豊松 十郎  
箱古娘おちる 吉田 勘十郎  
与次郎の母 吉田 勘十郎  
猿廻しと次郎 桐竹 勘十郎  
娘とおしゅん 大田 勘十郎  
駕籠屋 大田 勘十郎

バスで行く！  
グランシップ《文楽鑑賞》  
東部地区発  
らくらくバスツアー  
開催！  
詳しくは  
ホームページをご覧ください。  
富士山みくりやの旅。 検索  
主催・申込：御殿場総合サービス棟  
TEL:0550-88-5771

チケット購入者限定！  
特別イベント  
「わかる！文楽入門講座」  
公演に出演している技芸員による、太夫・三味線の解説や実演などを身近でござらいただけます。  
■10月10日(月・祝) 17:00~17:30  
■6階交流ホール  
無料 申込不要  
直接会場へお越しください

会場限定！  
文楽限定グッズ  
会場内では人気の「文楽せんべい」をはじめ、文楽グッズを販売。観劇のおみやげにどうぞ。

「人形浄瑠璃 文楽」事前レクチャー  
山川静夫のここがみどころ・ききどころ  
～文楽人形遣いにせまる～  
静岡市出身で元NHKアナウンサーの山川静夫さんが、文楽のここに注目すると面白いというポイントをわかりやすく解説します。  
ゲスト：吉田一輔（文楽人形遣い）ほか  
■8月28日(日) 14:00～  
■グランシップ 6階交流ホール  
参加料：一般1,000円 子ども・学生500円（事前申込制、当日支払）  
お申込先 TEL:054-289-9000 FAX:054-203-5716 e-mail: info@granship.or.jp

交通アクセス  
・JR東静岡駅南口隣接。  
・静岡鉄道長沼駅下車徒歩10分。  
・JR東海道新幹線（ひかり）で東京・名古屋から1時間。新大阪から2時間。JR静岡駅乗換。東静岡駅まで3分。  
・車で、東名高速道路静岡ICから20分。新東名高速道路新静岡ICから15分。静岡バイパス千代田上土ICから10分。  
公演当日は混雑が予想されますので公共交通機関をご利用ください。  
託児案内  
ボランティアスタッフによる託児サービス（無料、2歳以上の未就学児に限る）をご希望の方は、公演1週間前までにご連絡ください。定員になり次第、締め切らせていただきます。  
車椅子でご来場の方は、公演前日までにご連絡ください。  
【託児サービス及び車椅子での来場のお問い合わせ】(公財)静岡県文化財団 事業課 TEL:054-203-5714

GRANSHIP  
〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4  
グランシップ指定管理者：公益財団法人静岡県文化財団  
ホームページアドレス http://www.granship.or.jp/

芸術祭  
新東名高速道路新静岡IC、静岡バイパス千代田上土IC、静岡県庁、新静岡駅、長沼駅、JR東海道新幹線、JR東静岡駅、JR静岡駅、南安宿、南安宿3丁目、池田、至東京、至名古屋、SBS通り、静岡IC。